

さりげない見守りで安心を

# 広げよう！見守りの輪

健康福祉課地域包括支援センター係 ☎028(677)6080

町内では、大字ごとの見守り隊活動や居場所づくり活動が行われています。  
しかし、新型コロナウイルス感染症予防のため、人と会う機会や外出する機会が減ってしまっています。  
こんな時だからこそ、さりげない見守りが地域の安心感を高めます。

## 見守りとは？ 何をしたらいいの？

見守りは、特別なことではありません。

散歩をしているとき、回覧板を回しにいったとき、買い物をしているとき、近所の人と少し会話することはありませんか。これだけで見守りなのです。

何気ない挨拶や会話の中で“いつもと違う何か”に気付くかもしれません。

相手を心配する気持ちから見守りが始まります。  
相手の気持ちになって、さりげなく、見守りの輪を広げてみませんか。



## こんなことありませんか？

身近な人に“最近様子が変わった”ような人はいませんか。もしかすると誰かの助けが必要な状況かもしれません。

地域包括支援センター係 ☎028(677)6080へお気軽にご連絡ください。

### 服装



- 毎日同じ服を着ている
- 汚れが目立つ
- 季節感がない

### 郵便受け



- 新聞や郵便物がたまっている
- 確認している様子がない

### 家



- 日中、雨戸やカーテンが開かない
- 日が暮れても、電気が点かない

### 身体



- 急に太った、痩せた
- 顔色が悪い
- 傷やあざが増えた

### 様子



- 姿を見かけなくなった
- 近所の集まりに参加しなくなった
- 会話をしようとしないう
- 話のつじつまが合わない



こんなシールを身に付けている人が困っていたら保護にご協力を

8月1日からサービス開始！  
認知症高齢者等見守り事業

芳賀町 **どこシル伝言板**®



◆シールを身に付けた人が困っていたら、このように対応してください。

- ①正面から声をかけます。
- ②スマートフォンでQRコードを読み取ります。
- ③表示された情報を確認します。
- ④発見者と保護者がやりとりします。



## 【どこシル伝言板とは？】

認知症などで徘徊する高齢者の保護を目的としたサービスです。

衣類や持ち物に貼ったシールのQRコードを、スマートフォンなどの携帯電話で読み取ると、登録した保護者に連絡が入ります。その後、伝言板に書き込むことで発見者と保護者との双方向のやりとりができます。

発信者も受信者も個人を特定する情報は開示されませんので、安心して使えます。



「町どこシル伝言板」サービスの利用には、登録が必要です。費用は無料です。  
まずは右記までお問い合わせください。

認知症等のご相談は  
健康福祉課地域包括支援センター係  
☎028 (677) 6080